

株式会社ビーエスFOX
第8回放送番組審議委員会議事録

1. 開催日 : 平成27年11月17日(火)13:00~14:30
2. 開催場所 : 東京都渋谷区神宮前6-25-14 神宮前メディアスクエアビル6F
3. 委員の出席 : 委員総数 8名 / 出席委員数 7名
出席委員(敬称略): 菊地 実、坂井 保之、曾根 和子、田保橋 淳、
鳥居 美砂、浅井 正義、阿部 清美
放送事業者側出席者氏名 :

ビーエスFOX 取締役	眞島 大介
ビーエスFOX 監査役	杉田 真太郎
マーケティング部 部長	岸本 裕子
編成部 部長	伊藤 由起
編成部	鈴木 香都喜
編成部	後藤 圭介
事務局	岩崎 壮一
事務局	橋本 佳奈(記)
4. 議題:
 - (1) 株式会社ビーエスFOXの放送事業概況および運営チャンネル概況の説明
 - (2) ナショナル ジオグラフィック チャンネルにて放送の『史上初! 恐竜大解剖』について
5. 審議内容:
 - (1) 株式会社ビーエスFOXの放送事業の概況および運営チャンネルの概況について
コンテンツをいかに視聴者に届けるのか、その手法が大きく変化している。視聴デバイスの多様化は特にアメリカで顕著だが、3~4年後には日本でも同様の変化が起こればと考えており、今年からFOXチャンネルのインターネット上での配信も開始した。引き続き、最も重要なことはコンテンツのクオリティを上げることと考え、よりよりコンテンツを視聴者の方にお届けできるよう努めていく。
ナショナルジオグラフィックについては、この度ナシジオパートナーズを合弁で立ち上げ、従来個々で運営されていた出版、放送、ライセンスなどの各事業が組織として一つにまとまることになった。この組織変更により、ナショナルジオグラフィックチャンネルの番組編成についても、より強化していく。
FOX スポーツ&エンターテイメントについて、引き続きプロ野球は福岡ソフトバンクホークスの主催試合を放送予定。来シーズンは一軍の主催試合に加え、二軍のウエスタンリーグの試合も放送する。

(2) ナショナル ジオグラフィック チャンネルにて放送の『史上初！恐竜大解剖』について
2014年8月に「恐竜マンス」特集内で放送された『史上初！恐竜大解剖』をご審議頂きたい。

<委員の意見>

- ・面白いが、現時点で科学的に事実と証明されている点とそうでない点が混在しており、ドキュメンタリーなのかフィクションなのかも不明瞭なため、視聴者を混乱させてしまうように思う。
- ・科学番組というよりは解体ショーのような印象。扱われている事実は1つ1つ科学的根拠に基づいているものだろうが、見せ方の問題で、逆に嘘のように見えてしまう部分がある。
- ・映画やドラマのような番組の作りは良いが、この恐竜は精巧に再現された模型であるという前置きがやはり冒頭に必要かと思う。逆にこのような模型が作れるのであれば、その制作過程を番組にした方が興味深かったのではないか。
- ・制作に力が入っているのは分かるし、新しいチャレンジだと思うが、番組企画として成功しているかどうかは疑問。恐竜は子供にも人気のあるテーマなので、見せ方や編成を工夫してほしい。
- ・血の出る表現が多いのには辟易したが、さすがに恐竜の模型はよく出来ており、ミステリーのような面白さがある興味深い番組だと思う。
- ・恐竜というものを解説するというより、視聴者の興味をどう引くかという点に重きが置かれているような印象を受ける。ナショナルジオグラフィックは純粋な科学技術を以て真正面からテーマに迫っていくことができる力があるし、視聴者も過剰な演出は望んでいないのではないか。
- ・血の表現について、アメリカでは大きな問題にならなかったのかもしれないが、日本では文化が異なるので、冒頭にテロップを入れるなり編成時間を考慮するなりの配慮が必要だったと思う。
- ・大塚 明夫さんのナレーションが落ち着いて聞けてとても良かった。

<事業者回答>

日本のナショナル ジオグラフィック チャンネルで現在放送している番組は大半がアメリカの同チャンネルで放送されているものだが、昨今の傾向として本来のドキュメンタリーの趣旨から外れたバラエティ色の強い番組が増えており、このような種類の番組を今後どのように扱っていくべきかご意見を伺いたく今回審議にかけさせて頂いた。頂いたご意見の数々を今後の番組編成に活かしていきたい。

以上